**本時について**

（１）本時の目標

・自己の課題に応じたバッティング技能のポイントや練習方法がわかり，基本の構えからバットを振りぬき、強い打球を打ち返すことができる。（知識及び技能）

・練習やゲームを通して自己やチームに適した課題を見つけ、それに応じた練習方法を選ぶことができる。　（思考力・判断力・表現力等）

・強い打球を打ち返すために互いに見合ったり、練習の補助をしたりして、グループの仲　間が互いに上達する教え合いができる。（学びに向かう力・人間性等）

（２）展開（本時　５／１２時）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 学習活動 | 指導・援助・評価 |
| 導  入 | １　用具の準備・準備体操・補助運動を行う。  ・グループごとに準備、準備体操をする。   |  | | --- | | 【補助運動】  キャッチボール（下投→上投）→ゴロ捕球→フライ捕球 |   ２　計画会を行う。  【全体計画会】  ・本時の課題、技術ポイント、練習方法がわかる。  【 課 題 】　　 強い打球を打つゲームをしよう  【グループ計画会】  ・個人課題をグループで共有する。 | |  | | --- | | 研究内容（１）［主体的な学び］  **集団種目において個人課題を見出させる手立て**  ②導入で個人課題を見出させる手立て  ・学習カードを活用し前時の振り返りから個人課題を明らかにできているか。 |   ・課題達成のための技術ポイントと練習　方法を確認する。  ・前時の振り返りから、適切な個人課題を設定できているか確認する。 |
| 展  開 | ３　前半練習を行う。  〇グループごとに段階表を活用して課題とする動きを見合い、教え合って練習をする。   |  | | --- | | 【練習方法】  素振り→ティーバッティング→トスバッティング  →正面からの易しい投球→様々なコースの投球 |   ・１人５球を目安に交代する。  ・個人課題にあった練習方法を選択し、視点を基に技能を確認しアドバイスをし合う。  ４　中間研究会を行う。  〇前半練習の様子から、仲間の技術ポイントを知る。  ・体の軸が安定した一連のスイングができている。  ・バットの芯でボールを捉えることができている。  ・強い打球を打ち返すことができている。  ５　後半練習（変則ルール試合）を行う。  〇本時の課題や、中間研究会で確認したことを試合の中で意識する。   |  | | --- | | ・打者一巡交代（アウトカウントは無し）  ・ピッチャーは自分のチーム | | |  | | --- | | 研究内容（２）［対話的な学び］  **集団種目において個人課題を達成させるための手立て**  ②練習方法  ・グループ練習と抽出生徒の練習を使い分け、生徒の課題や姿に応じた練習を方法を選ぶことができているか。  ③仲間への関わり  ・バッティング段階表から技術ポイントや練習の視点を理解し、仲間に的確な声かけやアドバイスができているか。  ④どの子にも満足のいく１時間とするための計画会、中間研究会、反省会  ・計画会（中間研究会）で本時の課題、個人課題を達成させるための技術ポイントが合っているか。 |   ・生徒の姿と練習方法が合っているか確認する。  ・苦手な生徒がグループの中で上手く練習ができていない場合、教師がスイングの仕方やタイミングの取り方を指導する。  **【評価規準】**  練習や仲間のアドバイスを通して、自分なりのコツや技術ポイントを見つけようとしている。（思考・判断） |
| 終  末 | ６　反省会を行う。  【グループ反省会】  ・本時の個人とグループの成果を交流し合う。  【全体反省会】  ・仲間の姿を認め合う。次時の個人課題を設定する。 | |  | | --- | | 【評価規準】  ・スムーズなバット操作で力強い打球を打つことができる。（知識及び技能） |   ・本時の振り返りから次時の個人課題を設定することができているか確認する。 |